

[様式 9 - 1]

## 福祉サービス等第三者評価結果

## 総合評価

受診施設名	峰山保育所	施設種別	保育所
評価機関名	特定非営利活動法人 きょうと福祉ネットワーク「一期一会」		

平成 26 年 5 月 10 日

総 評	<p>峰山保育所は、山に囲まれた自然豊かな環境に立地しております。平成 23 年 4 月より、公立保育所から法人が民間委託を受けて運営が開始されました。</p> <p>管理者のリーダーシップのもと、延長保育をはじめ、一時預かり保育、特別支援保育、休日保育など多様なニーズにこたえるべく様々な事業展開を行っています。</p> <p>また、保護者に安心して預けてもらえるように送迎時のコミュニケーションを大切にするとともに夕方には玄関のホワイトボードに一日の様子が掲示がされたり、信頼関係づくりに努めておられました。</p> <p>地域とのつながりについても大切にされており、保育所開放や「にこにこフェスティバル」の開催のほか夏祭りなどの地域行事にも積極的に参加されていました。</p> <p>保育実践においては、恵まれた自然環境を活かし、明るくのびのびと育つ環境が整っていました。また、「食」を身近に感じられるよう自らの育てた野菜を食べたり、読み聞かせや紙芝居を積極的に取り入れたり、アレルギー食や手作りおやつなど一人ひとりの子供に合わせたきめ細かい取り組みと職員の温かさを感じました。</p> <p>衛生管理、安全についてはマニュアルの整備だけでなく、定期的な見直しやあらゆる災害（地震、水害、不審者対策など）を想定した訓練がしっかりと行なわれていました。</p> <p>平成 26 年度からは新たに民設民営の施設として名称をゆうかり子ども園になるとお聞きしました。さらに保育サービスの向上に努め、地域の拠点となっていかれることを期待いたします。</p>
特に良かった点(※)	<p><b>I－3－（２）管理者のリーダーシップが発揮されている。</b>  管理者は人事考課制度や職員会議などで職員の意見を吸い上げ、保育サービスの質の向上に指導力を発揮しています。  また、管理者、主任、副主任を中心に業務の改善策を話し合うとともに、法人の他の事業所とも連携をし、「子育て中の方に働きやすい職場環境」を作っています。</p> <p><b>II－3－（１）地域との関係が適切に確保されている。</b>  事業方針に地域との関わりについて明文化しています。また、地域の祭りで園児が踊りを披露したり、職員がボランティアとして参加して地域との関わりを大切にしています。  子育て中の孤立防止を目的として保育所開放や「にこにこフェスティバル」を開催するなど、地域への機能還元を意識した活動も行っています。</p> <p><b>III－1－（２）②利用者からの意見等に対して迅速に対応している。</b>  送迎時には、保護者から園児の状況について丁寧に情報交換される様子が見受けられました。また、懇談会や意見箱を通して、意見、提案、苦情等があれば、苦情解決マニュアルに沿って迅速に対応し、毎日お迎</p>

	<p>えの時間までに記入される組ごとのボードや、毎月発行されるおたよりで返答や公表されていきました。おたよりは各組の個性が出る手作りの紙面で、取り組みの詳細や子ども達の様子がわかりやすいように努力されていきました。</p> <p><b>Ⅳ－３－（１）安全・事故防止</b>        子どもの安全確保に関してはマニュアルを整備するとともに「衛生管理係」と「リスクマネジメント係」を中心に安全対策に取り組んでおり、定期的な見直しも行っています。        担当者を決め、月１回事故防止のチェックを行っています。また、警察による交通安全教室を開催したり、救急救命の研修に毎年職員を派遣しています。        あわせて、「事故災害発生時対応マニュアル」が整備されており、避難訓練を毎月行うとともに地震や水害訓練も定期的に行っています。</p>
<p>特に改善が望まれる点(※)</p>	<p><b>Ⅱ－２－（３）定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。</b>        研修後には報告書の提出や報告する機会は設けられていましたが、評価、分析された結果を次回の研修計画に反映した見直しがされてませんでした。</p> <p><b>Ⅲ－２－（１）②定期的に自己評価を行い、その結果と課題を職員間で共有し、改善に向けた取り組みを行っている。</b>        乳幼児、および、年齢毎に毎年自己評価を行っています。自己評価については、職員会の場で評価結果の分析、検討を行っています。分掌表で自己評価の担当を定めていますが、分析結果をデータ化し改善に向けた取り組みができていませんでした。</p> <p><b>Ⅳ－１－（３）⑩障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる。</b>        同法人の障害者支援施設と連携し障害特性に合わせた研修がされていましたが、老朽化等もあり、トイレや段差などバリアフリーの整備が十分ではありませんでした。</p>

※それぞれ内容を３点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

# 京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

---

## 【保育所版】

# 評価結果対比シート

---

受診施設名	社会福祉法人 みねやま福祉会 京丹後市立峰山保育園
施設種別	保育所
評価機関名	きょうと福祉ネットワーク「一期一会」
訪問調査日	平成26年3月14日

保育所評価基準 対比シート

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目		評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I－1 保育の理念・基本方針・目標	I－1－（1） 保育の理念、基本方針・目標が確立されている。	①	保育の理念が明文化されている。	a	a
		②	保育の理念に基づく・基本方針・保育目標が明文化されている。	a	a
	I－1－（2） 保育の理念、基本方針・目標が周知されている。	①	保育理念・保育方針・保育目標が職員に周知されている。	b	a
		②	保育理念・保育方針・保育目標が利用者等に周知されている。	a	a
I－2 計画の策定	I－2－（1） 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	①	中・長期計画が策定されている。（非該当）	b	a
	I－2－（2） 保育の計画が適切に策定されている。	①	保育課程が保育理念・保育方針・保育目標に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して編成されている	a	a
		②	保育課程と年間指導計画、短期指導計画との整合性が図られている。	a	a
		③	指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき改定されている。	a	a
		④	保育課程の編成や指導計画の作成が組織的に行われている。	b	b
		⑤	保育課程・指導計画が職員や利用者等に周知されている。	a	a
I－3 管理者の責任とリーダーシップ	I－3－（1） 管理者の責任が明確にされている。	①	管理者自らの役割と責任を職員に対して表明されている。	a	a
		②	遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	a	a
	I－3－（2） 管理者のリーダーシップが発揮されている。	①	質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	a	a
		②	経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	a	a
【自由記述欄】					
I－1－（1）	①理念、基本方針が明文化され、園のしおり等に記載されているとともに各クラスにも掲示されている。 ②保育理念・保育方針・保育目標についても園のしおり等に記載されているとともに各クラスにも掲示されている。				
I－1－（2）	①保育理念・保育方針・保育目標については職員会議などで周知しているとともに室内に掲示している。 ②毎年4月に配布しているしおりに理念等を記載し、クラス懇談会や入所説明会において説明を行っている。民生委員にも各行事（七夕会や開放日）に来てもらい保育園の活動の説明も行っている。				
I－2－（1）	①法人の中・長期計画の策定にあたっては園として行政と連携し、地域の子育てニーズの把握をするためアンケートを実施している。				
I－2－（2）	①保護者へのアンケートを行い、職員で出された意見を検討して保育課程を編成している。保護者へもフィードバックを行っている。 ②保育過程をもとに年間、月間、週案計画が作成されている。その内容についても実態に即して子供が主体的に活動できるような計画が作成されている。 ③毎月、月案の評価を行い翌月の指導計画に反映している。年間指導計画は年度末に評価を行っている。 ④保育課程の作成等については一部の職員で行っており、全職員での見直し、周知となっていない。 ⑤職員については年度初めに配布し説明を行っている。保護者へはクラス便りや園便りで配布するとともに懇談会や総会において説明を行っている。				
I－3－（1）	①各会議において管理者の役割と責任について職員に表明している。また、法人として管理者も含む人事考課システムを確立している。 ②法人で順守すべき法令を整備しリスト化を行っている。また、研修会、職員会議で周知を行っている。				
I－3－（2）	①人事考課制度や職員会議などで職員の意見を吸い上げ、行事のリーダーなどの職員の配置を考え、保育サービスの質の向上に指導力を発揮している。 ②管理者、主任、副主任を中心に業務の改善策を話し合い、職員が働きやすい環境を図っている。法人の他の事業所とも働きやすい職場づくりについて相談合っている。				

## Ⅱ 組織の運営管理

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
Ⅱ－１ 経営状況の把握	Ⅱ－１－（１） 経営環境の変化等に対応している。	① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	a	a
Ⅱ－２ 人材の確保・養成	Ⅱ－２－（１） 人事管理の体制が整備されている。	① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	a	a
	Ⅱ－２－（２） 職員の就業状況に配慮がなされている。	① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	a	a
		② 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	a	a
	Ⅱ－２－（３） 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	a	a
		② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	b	a
		③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	b	b
	Ⅱ－２－（４） 実習生の受け入れが適切に行われている。	① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	a	a
		② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	a	a
Ⅱ－３ 地域との交流と連携	Ⅱ－３－（１） 地域との関係が適切に確保されている。	① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	a	a
		② 事業所が有する機能を地域に還元している。	a	a
		③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a	a
	Ⅱ－３－（２） 関係機関との連携が確保されている。	① 必要な社会資源を明確にしている。	a	a
〔自由記述欄〕				
Ⅱ－１－（１）	保育協会等の研修等に参加し社会福祉事業全体及び地域の動向を的確に把握している。また、行政と連携しアンケートを実施し、中長期計画に反映している。			
Ⅱ－２－（１）	法人として人事管理に関するプランが確立している。それに基づき有資格者雇用、６０歳以上の雇用なども実施している。			
Ⅱ－２－（２）	①職員の有給休暇の取得や時間外労働のチェックを定期的に行い必要に応じリーダー会議で検討を行っている。また、法人内臨床心理士による相談窓口を設置している。 ②福利厚生センターに加入し、年２回の健康診断を実施している。また、事業所内に管理職とは別に悩み相談窓口を設置している。			
Ⅱ－２－（３）	①事業計画の中に職員に求める基本姿勢が明示されている。 ②職員の意向と経験年数、技能をふまえ個別の研修計画が策定されている。 ③研修後には報告書の提出や発表する機会は設けられているが、評価、分析された結果を次回の研修計画に反映した見直しが行われていない。			
Ⅱ－２－（４）	①実習生受け入れのマニュアルを作成し意義・方針を明文化して、体制を整備している。 ②実習内容を計画的に学び、実習効果を高められるようにプログラムを整備している。			
Ⅱ－３－（１）	①事業方針に地域との関わりについて明文化している。地域の祭りで園児が踊りを披露したり、職員がボランティアとして参加して地域との関わりを大切にしている。 ②子育て中の孤立防止を目的として保育所開放や「にこにこフェスティバル」を開催するなど、地域への機能還元を意識した活動を行っている。 ③ボランティア受け入れマニュアルに意義・方針を明文化して、担当を決めて受け入れている。			
Ⅱ－３－（２）	①社会資源リストを作成して、職員間で共有している。			

### Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目		評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅲ－１ 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ－１－（１） 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	①	利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	a	a
	Ⅲ－１－（２） 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	①	苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	a	a
		②	利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	a	a
Ⅲ－２ サービスの質の確保	Ⅲ－２－（１） 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。	①	定期的に第三者評価を受診し、事業内容の改善に活かしている。	－	a
		②	定期的に自己評価を行い、その結果と課題を職員間で共有し、改善に向けた取り組みを行っている。	b	b
	Ⅲ－２－（２） サービス実施の記録が適切に行われている。	①	入園面接・健康診断など定められた手順に従ってアセスメントを行っている	a	a
		②	利用者に関する記録の管理体制が確立している。	a	a
		③	利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	a	a
Ⅲ－３ サービスの開始・継続	Ⅲ－３－（１） サービス提供の開始が適切に行われている。	①	利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	b	a
		②	保育の開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	a	a
	Ⅲ－３－（２） サービスの継続性に配慮した対応が行われている。	①	転園・卒園にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	a	a
[自由記述欄]					
Ⅲ－１－（１）	①法人で個人情報保護に関する基本方針を定めるとともに、職員とは守秘義務に関する誓約書を交わし、利用者のプライバシー保護に努めている。				
Ⅲ－１－（２）	①②苦情解決の体制を整備し、マニュアルに沿って意見等には甚族に対応している。また、公表についてはおたよりで報告するとともに玄関に掲示している。				
Ⅲ－２－（１）	①第三者評価の受診は今回が初めてである。 ②乳幼児、および、年齢毎に毎年自己評価を行っているが、評価結果の分析・検討する場が組織として定められていない。				
Ⅲ－２－（２）	①「児童票」、「家庭票」を基にアセスメントを行っている。 ②文書取扱規則により、保管、保存、廃棄等について定めている。 ③毎月、ケース会議を開催して、利用者の状況について情報共有している。				
Ⅲ－３－（１）	①法人のホームページやＤＶＤで情報を公開している。保育所のパンフレットや資料は、保育風景の写真や図を用いて解りやすい内容にしている。 ②入所説明会において、保育サービスや料金等について、資料を用いて説明している。				
Ⅲ－３－（２）	①転園・卒園についてのマニュアルがあり、保育終了後も相談できる窓口を設置している。保育園、幼稚園、小学校との定期的な連携が図られている。				

## IV-1 子どもの発達援助

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
Ⅳ－１ 子どもの発達援助	Ⅳ－１－（１）健康管理・食事	① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している	a	a
		② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	a	a
		③ 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	a	a
		④ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している	a	a
		⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている	a	a
		⑥ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている	a	a
		⑦ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している	a	a
		⑧ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行なっている	a	a
	Ⅳ－１－（２）保育環境	① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している	b	b
		② 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行なっている	a	a
	Ⅳ－１－（３）保育内容	① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている	a	a
		② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している	a	a
		③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている	b	a
		④ 身近な自然や社会とかがわれるような取り組みがなされている	a	a
		⑤ さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている	a	a
		⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している	a	a
		⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てよう配慮している	a	a
		⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している	a	a
		⑨ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	a	a
		⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	a	a
		⑪ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる	b	b
【自由記述欄】				
Ⅳ－１－（１）	①「健康管理マニュアル」に基づき、日々の健康管理を行っている。入所前には予防接種、既往症などの情報を収集し一覧表を作成している。 ②年2回健康診断を行い、健診結果は保護者へ文書で返していた。嘱託医とは健診後に話し合いが行われ相談する体制が整っていた。 ③歯科検診は年1回、3歳以上が受けている。検診結果については保護者に文書で知らせるとともに、歯磨き指導も行っている。 ④「感染症マニュアル」が整備されている。また園内で感染症が発生した時には職員に周知し、掲示板で保護者にも伝えている。 ⑤縦割りのグループでの給食や野外食など場所を変えたり、BGMを流すなど、年齢に応じて食事を楽しめるよう環境を設定されていた。給食に自分たちで作った野菜を使い、食への感心を高めるための取組みをされていた。 ⑥検食簿の活用や会議においてクラスの喫食状況を把握している。また、給食日誌において残食状況を確認するなど献立の工夫をしている。 ⑦月末に翌月の献立表を保護者に配布している。また、レシピを玄関に掲示したり、給食参観などで試食できる機会を設けている。 ⑧「アレルギー対応マニュアル」に沿って、医師の指示書に基づき、個別に対応されている。			
Ⅳ－１－（２）	①遊具の点検、施設整備は月1回実施されていた。また、保育室は採光に配慮され、通風、換気に配慮されていたが、定期的な寝具の乾燥ができていなかった。 ②保育室は季節ごとに室内装飾を変えるなど配色に配慮されているとともに、コーナーを作って子供たちが安心できるスペースが確保されていた。			

IV-1-(3)	<p>①子どもの年齢に応じた言葉がけや一人ひとりの状況を把握するように努めていた。</p> <p>②子ども一人一人に応じて対応がなされていて、衣類には自分のマークをつけるなど年齢に応じた配慮がされていた。</p> <p>③子どもの意欲を引き出す遊びや玩具が用意されており、自由に遊べる時間が確保され、コーナーを作り活動が広がるよう配慮されていた。</p> <p>④園庭には山もあり、それらを生かした保育実践(芋づるリース作りなど)がなされていた。法人内の高齢者施設との交流も行っていた。</p> <p>⑤日々の保育において楽器やクレヨンなどの素材が自由に使えるよう配慮されていた。絵本の読み聞かせや紙芝居などを積極的に取り入れていた。</p> <p>⑥給食当番やゴミ集めなど当番活動に取り組むとともに保育の場面において異年齢児との交流をもつ時間があった。</p> <p>⑦人権擁護研修などに参加し全職員で共有している。</p> <p>⑧性差による固定的な対応ではなくチーム活動も男女混合班を作るなど個々を尊重した保育を行っている。</p> <p>⑨授乳は授乳室を設けゆっくりできるよう配慮がされている。離乳食は家庭と栄養士が連携を取り一人ひとりの状況に配慮されていた。また、「健康管理マニュアル」を作成し、「SIDS」防止のための勉強会を行っている。</p> <p>⑩長時間保育の子どもにはゆっくりと過ごせるよう、畳や絨毯を設置するとともに軽食が用意されていた。</p> <p>⑪同法人の障害者支援施設と連携し障害に合わせた研修がされているが、洋式トイレが少ないことや段差がありバリアフリーの整備が十分でない。</p>
----------	---



#### IV-2 子育て支援

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-2 子育て支援	IV-2-(1) 入所児童の保護者の育児支援	① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行なっている	a	a
		② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている	a	a
		③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている	a	a
		④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている	a	a
		⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている	a	a
		⑥ 子どもの発達記録やケア記録、保育要録など保育に必要な記録が整備され、保育内容（指導計画）や小学校など専門機関との連携に活かされている。	a	a
	IV-2-(2) 一時保育	① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている	a	a
[自由記述欄]				
IV-2-(1)	①送迎の際のコミュニケーションなど日常的に情報交換を行なっている。お迎えの際にはホワイトボードに一日のクラスの様子を書いて保護者に知らせている。連絡帳での伝達や個別面談も行われている。 ②定まった様式に家庭の状況等について記録し、職員会議で情報共有している。 ③クラス懇談会、個別懇談会のほか親子行事なども行い、保護者との共通理解を図っている。 ④⑤「児童虐待対応マニュアル」が作成されており、関係機関への連絡先が明示され、職員にも周知されている。 ⑥子ども一人ひとりの記録として個人記録・健康記録などが整備されている。また、地域の小学校や関係機関との定期的な連携を行っている。			
IV-2-(2)	①一時保育の担当が配置されるとともに日誌を整備し家庭との連携も行っている。			

#### IV-3 安全・事故防止

評価分類	評価項目	評 価 細 目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
Ⅳ－３ 安全・事故防止	(１) 安全・事故防止	① 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている	a	a
		② 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている	a	a
		③ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている	a	a
		④ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	a	a
		⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	a	a
[自由記述欄]				
Ⅳ－３－（１）	①②子どもの安全確保に関してはマニュアルを整備するとともに「衛生管理係」と「リスクマネジメント係」を中心に安全対策に取り組んでいる。定期的な見直しも行っている。 ③担当者を決め、月１回事故防止のチェックを行っている。また、警察による交通安全教室を開催したり、救急救命の研修に毎年職員を派遣している。 ④「事故災害発生時対応マニュアル」があり、避難訓練を毎月行うとともに地震や水害訓練も定期的に行っている。 ⑤「不審者への対応防犯マニュアル」があり、想定した訓練も行っている。			